かかりつけ医と病院を結ぶ

東北中央病院 病診連携室だより

平成２５年　９月　Ｎｏ．４１

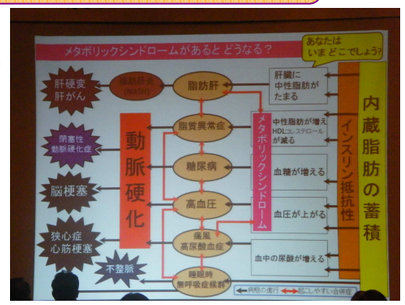
ホームページ　http://www.tohoku-ctr-hsp.com/

◇ 理 念 ◇　「 心温かい 信頼の医療 」　　病院長　田中 靖久

第６回消化器疾患治療シンポジウム

９月１２日（木）ホテルメトロポリタン山形に於いて、毎年恒例の消化器疾患治療の最先端を討論する会である『第６回消化器疾患シンシンポジウム』を開催しました。

御参集を賜りました先生方には、大変お忙しい中にもかかわらず、多数の御参加を頂き、厚く御礼申し上げます。



【演題Ⅰ】

『当院における脂肪性肝疾患のマネジメント』

東北中央病院
消化器内科医長
伊 藤 麻 衣　医師

田中靖久 病院長

【演題Ⅱ】

『大学病院における過去
１２年の非Ｂ非Ｃ肝癌症例の検討』

山形大学医学部
内科学第二講座助教
佐 藤　智 佳 子　先生

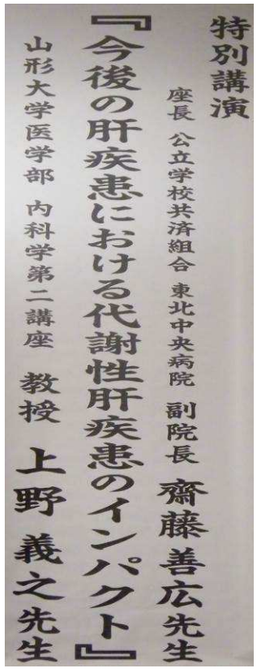
石濱活義 医師

齋藤善広 副院長

前回に引き続き「肝疾患」のテーマとなり、各先生方より、前回の内容に関連した最新の情報をわかりやすく講演していただきました。

伊藤麻衣医師より、脂肪肝の本当の恐ろしさについて患者さんの自覚がたりない。まず第一に減量し、データの改善を図ることが大切であると発表していただきました。

佐藤智佳子先生より、肝癌、肝硬変の多くの原因であるＣ型Ｂ型肝炎が近年減少傾向にあり、アルコール性及びＮＡＳＨ、メタボリックシンドロームとの関連性について詳しくお話していただきました。



【特別講演】

『今後の肝疾患における代謝性肝疾患のインパクト』

山形大学医学部　内科学第二講座教授　上野 義之 先生

上野義之先生より、現在肝疾患は糖尿病患者の死因として第１位（約 13%）を占め、人間ドックの異常値も肝機能障害が上位であり、肝疾患患者数は全く減らない状況である。また、非ウイルス性肝疾患由来の肝硬変の進行例が多く、発見が遅れることもあり、予後は不良である。危険群抽出のためのバイオマーカーの探索が進められており、早期発見、早期治療に向けての今後の治療及び研究について、詳しくお話をしていただきました。

最新の医療情報を共有し、今後も地域医療の発展のために役立てて頂ければと思います。該当する症例がありましたら、是非当院をご利用頂けると幸いに存じます。職員一同、患者さんのために、良質・適切・安全な医療で一丸となって治療にあたります。

今後とも、どうぞ宜しくお願いいたします。

〒９９０－８５１０　山形市和合町３丁目２番５号
公立学校共済組合　東北中央病院　病診連携室
ＴＥＬ（フリーダイヤル）：０１２０－７０３－９９５
ＦＡＸ（フリーダイヤル）：０１２０－１６８－９９０
代　表　電　話：０２３－６２３－５１１１